



Vixind(づいくしんど)とは

CBOE(シカゴオプション取引所)が公開している VIX 指数(S&P500 から算出したボラティリティ指数)を MT4 のチャートに表示するインジケーターです。

CBOE が CSV で提供している日毎の情報を取得、描画します。

また、分毎のデータを当方のサーバーで取得・保存しており、その分毎のデータを表示することも可能です。

さらに最新の情報を取得、チャートに描画します。

日毎の情報



日毎の情報は日足で表示すると綺麗に表示されます。

既定値では取得した終値をそのまま描画しますが、時差を考慮したい場合や使用する値を終値から始値、高値、安値に変更することも可能です。

分毎の情報



パラメーターの UseMinuteData を true にすると分情報を取得、描画します。

サーバーでは 1 分、5 分、1 時間毎のデータをそれぞれ取得しており、1 分足では 1 分毎データを、5 分、15 分、30 分足では 5 分毎データを、そして 1 時間、4 時間足では 1 時間毎のデータを使って描画しています。

なお、1 分データはかなりデータ量が多く、描画時間が長くなるのでご注意ください。

分毎データの制限事項

設計の都合で MT4 標準の時間足(1 分、5 分、15 分、30 分、1 時間、4 時間、日、週、月) 以外では**正しく動作しない可能性があります**。

また、1 分毎データは過去 3 日分、5 分データは 14 日分、1 時間データは 30 日分が限度となっております。(設計上の問題ではなく、サーバーの負荷などを考慮して制限を入れております)

DownloadPeriod(days)に上記の日数以上の値を入力しても、制限された日数を超えて取得することはできませんのでご了承ください。

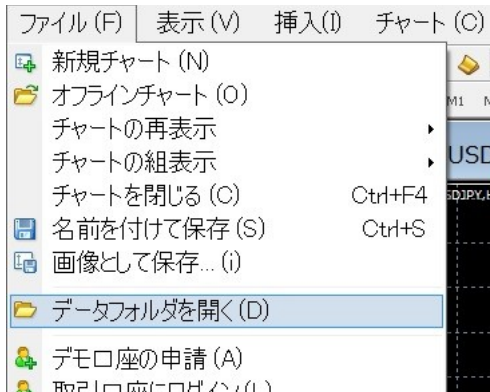
分毎データの利用料について

分毎データの取得にはサーバー費用がかかっておりまして、現在は当方で負担しております。

ゆくゆくは有料化になる可能性もありますが、当面は有料になる予定はありません。(日毎データにつきましては永続的に無償のままご利用できます)

Vixind のインストール

- 1.ダウンロードしたファイル（zip 圧縮ファイル）を解凍し、Vixind.ex4 をコピーします。（まだ貼り付けしません）
- 2.MT4 を起動し、上部メニューのファイル(F)からデータフォルダを開くをクリックします。



- 3.開いたフォルダ（エクスプローラー）から MQL4→**Indicators** の順に開き、1.でコピーした Vixind_beta.ex4 を貼り付け（ペースト）します。
- 4.MT4 を再起動するか、ナビゲーターウィンドウのスクリプト上で右クリック→更新するとナビゲーターウィンドウに Vixind が表示されます。
- 5.Vixind をチャートに設置し、全般タブの DLL の使用を許可するにチェックを入れます。



下限と上限はお好みで設定してください。（※分足で使用する場合には上限 80 は大きすぎると思います）
パラメーターについては次ページにてご説明しております。
設定が終わったら OK ボタンを押下してください。

Vixind の設定

全般タブ：「DLL の使用を許可する」にチェックを入れてください。

パラメーターは以下の一覧を参考に設定してください。

各パラメーター設定

License（ライセンスの設定）

MailAddress：現在は入力不要です。分毎データが有償化された場合には必要になります。

OrderNumber：現在は入力不要です。分毎データが有償化された場合には必要になります。

CommonSettings（共通設定）

UseDailyOffset：日毎データで時差調整を行いたい場合には true にします。既定値は false です。

VixDailyColumn：CBOE が公開している「始値(VixOpen)」「終値(VixClose)」「高値(VixHigh)」「安値(VixLow)」のうち、どの項目を利用するか指定します。既定値は「終値(VixClose)」です。

UseAutoCBOEOffset：シカゴとの時差を自動で設定します。時差をご自身で入力したい場合には false にしてください。既定値は true(自動設定)です。

CBOEOffsetGMT：シカゴと GMT の時差を手動で設定します。既定値（夏時間-5、冬時間-6）から変更したい場合に使用します。UseAutoCBOEOffset が false の場合にのみ有効です。なお、この時差は**日毎データでのみ使用しております**。（分データは UTC+0 で記録しておりますのでシカゴとの時差は無関係です）

UseMinuteData：分毎データの使用有無を設定します。使用したい場合には true にしてください。既定値は false です。

DownloadPeriod：分毎データの取得してくる最大日数です。必要な日数を入力してください。ただし、**分毎データの制限事項（2 ページ目）**を超えて取得することはできません。

注意事項

リアル口座でご利用になる前に、まずはデモ環境等で動作をご確認ください。

当ツールを利用したことに関連して生ずる損害について、一切責任を負いません。（自己責任でお使いください）

個人使用・業務使用に関わらず自由にご使用いただいてもかまいませんが、当ツールの加工・販売等は禁止とさせていただきます。

当ツールをご紹介いただいても構いませんが、ダウンロードは当ページから行っていただくようお願い致します。

もし不具合等ございましたら当ブログのコメント欄またはメールでご連絡いただけますと幸いです。

ご利用方法の問い合わせ（使い方がわからない、設定方法がわからない）などのご遠慮ください。

自助努力でご解決頂ますようお願い致します。※要望などは随時募集しております。

メールアドレス：tradeandsoftware@gmail.com

サポートメール(support@tasfx.net)が迷惑メールに振り分けられる問題が発生するケースが増加しているため、GMail に変更しました。

メールを送っても連絡がない場合には GMail の迷惑メールに振り分けられて気づいていないかもしれません。ブログ(<https://tasfx.net>)のコメント欄か、サポートメール(support@tasfx.net)に送ってみてください…。

2023/1/28 Vixind Ver 1.01